安全作業のために

●事故を未然に防ぐため、ご使用前に、取扱説明書に記載されている「安全作業のために」を全てよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
●商品仕様によって（コンタクトアーム）（トリガロック）（防塵カバー）が付いていない機種がありますので、指示に従って正しく使用してください。
●「⚠警告」この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
●製品の調子が悪かったり異常を感じたら、直ぐに中止してください。
●修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、製品の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー（株）へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。修理の知識や技術がない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

⚠ 警　告
釘打機の安全作業のために

はじめに

1 指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。取扱説明書の記載事項を厳守してください。

2 作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また釘打機に触らせないでください。

作業前

1 使用の際は、作業者およびまわりの人も、必ず保護メガネを着用する。

2 防音保護具を着用する。

釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

3 作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

4 エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。
1.ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2.各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3.コンタクトアームがスムーズに動くか。
4.トリガをロック（引けないように固定）できるか。
不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店またはマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー（株）へ点検・修理に出してください。

5 エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

6 エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。
1.トリガをロック（引けないよう固定）する。
2.コンタクトアームに触れない。
3.コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4.射出口を人体に向けない。

7 エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはネイル、ステープルを装填しないでエアホースを釘打機に接続し、下記の確認を必ず行ってください。
1.エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2.エアもれや異常音がしないか。
エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店またはマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー（株）へ点検・修理に出してください。

8 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイル・ステープルを装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをフリーにセットして確認してください。
※下記の場合には安全装置が故障していますから釘打機を絶対に使用しないでください。
1.トリガを引いただけで、作動音がする。
2.コンタクトアームを対象物に当てただけで、作動音がする。
異常を感じたら直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、製品の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー（株）へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。

9 防塵カバーは絶対にはずさない。

10 指定ネイル、ピン、ステープルを必ず使用する。

11 作業場所を常に整理する。

作業中

1 使用空気圧を必ず守る。

対象物により釘打機の使用空気圧範囲内で調整し使用してください。使用空気圧を超えた圧力で使用すると釘打機の寿命を早めたり、損傷によって危険を生じる恐れがあります。

2 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

3 射出口を絶対に人体に向けない。

4 向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

5 射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったネイル・ステープルが木の節などに当たった場合、ネイル・ステープルがはねたり、それたりして大変危険です。また、釘打機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

6 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

7 移動する際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

8 フック使用の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

9 作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

作業中のネイル・ステープル装填、調整およびネイル・ステープルづまりを直す時は、誤ってネイル・ステープルを発射すると危険ですから、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

10 異常を感じたら、絶対に使用しない。

作業中に釘打機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、製品の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー（株）へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。

作業後

1 作業終了時には必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

2 作業終了時には必ずネイル、ステープルを抜き取る。

3 釘打機を絶対に改造しない。

屋外作業について

1 足場の安全性を十分に確認する。

2 エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりした時の危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。

3 直射日光をさける。

釘打機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

打ち方

1 水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。

2 垂直面の釘打ち

釘打機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。
※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。

3 傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。

⚠ 警　告
エアコンプレッサの安全作業のために

はじめに

1 指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。取扱説明書の記載事項を厳守してください。

2 作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。またエアコンプレッサに触らせないでください。

作業前

1 作業環境に応じた防具等を着用する。

作業環境に応じて、保護メガネ・防音保護具・保安帽・安全靴等の防具を着用してください。

2 使用前に必ず点検する。

1.ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2.各部部品が外れていたり傷んでいないか。
3.電源プラグ・コードに異常がないか。
4.サーマルプロテクタ復帰ボタンを外側から固定していないか。

3 必ず指定電圧で使用する。

必ずAC100Vのコンセントで使用してください。指定電圧以外の使用は故障の原因だけでなく、発火・発熱の危険性がありますので絶対にしないでください。

4 エアコンプレッサに塗装・改造や衝撃を加えることは絶対に行わない。

5 延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ2.0mm^2以上、長さ30m以内のもの」を全て引き出し、伸ばした状態で使用する。

6 エアコンプレッサの電源に昇圧機などのトランス類は絶対に使用しない。

7 エンジン発電機や直流電源では絶対に使用しない。

8 エアコンプレッサの設置場所に関しての注意

1.硬く水平な場所に必ず設置する。
不安定な場所には絶対に設置しない。移動や落下の危険性のある場所には絶対に設置しないでください。
2.火気や燃えやすいもののそばには絶対に設置しない。
3.高温や直射日光が当たる場所は避け、風通しのよい日陰などに設置する。
4.ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所には設置しない。
5.雨の中や水のかかる場所・湿気の多い場所には絶対に設置しない。
水に濡れたまま使用すると、感電したり短絡（ショート）して焼損・発火による火災の恐れがありますので、絶対にしないでください。
6.適正な設置方向に必ず設置する。

9 運搬に関しての注意。

運搬時には必ず電源スイッチを切って（OFFにして）電源プラグをコンセントから抜く。

10 濡れた手で絶対に触れない。

11 感電事故防止のため、アースクリップを必ず接地（アース）する。

12 電源コードは大切に扱う。

電源コードを引っ張ってエアコンプレッサを移動させたり、電源コードを引っ張ってコンセントから電源プラグを引き抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡（ショート）の原因になります。

13 エアコンプレッサの通風孔や回転部（ファン部）などに異物を入れない。

14 正しい服装で作業する。

回転部（ファン部）などに巻きこまれないよう、袖口の開いたものや手袋・ネクタイ・ネックレスなどは着用しないでください。

15 エアコンプレッサにエアホースを接続する前に、必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。

16 エアコンプレッサが正常に作動するか使用前に必ず点検・確認する。正常に作動しない場合は、使用しない。

※下記の場合は、故障していますからエアコンプレッサを絶対に使用しないでください。
1.運転開始後、フルパワー運転なのに5分以上待ってもモーターが自動停止しない。
（補助タンク接続時は運転時間が異なります。）
2.エアコンプレッサ内部で異音・エア漏れ音がする。
3.減圧弁調整ハンドルを操作しても圧力計の表示圧力が変化（上昇・下降）しない。
異常のある場合は、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、製品の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー（株）へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。

17 大切に扱う。

落としたり、ぶつけたりすると故障の原因となります。

18 エアコンプレッサを長時間連続して運転する用途には使用しない。

釘打機のエア源以外の用途や、長時間連続運転となる用途に使用する場合は、あらかじめ必要性能などを取扱い販売店や弊社担当者に確認してください。

19 補助タンク接続口に直接空気工具を接続することは絶対にしない。

20 エアセット等の重量物をエアコンプレッサのエアチャックに直接取り付けない。

作業中

1 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

2 火気や燃えやすいもののそばでは絶対に使用しない。

3 不安定な場所では絶対に使用しない。

4 高温や直射日光が当たる場所は避け、必ず風通しのよい日陰などで使用する。

5 ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所では使用しない。

6 適正な設置方向で必ず使用する。

7 雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。

8 箱の中や狭い場所（密閉された車内など）では絶対に使用しない。

9 上面部に座ったり、物をのせることは絶対にしない。

10 回転部（ファン部）などには絶対に異物や手を近づけない。

11 運転時、運転直後のモーター・空気タンクなどの金属部には絶対に素手で触らない。

12 異常を感じたら絶対に使用しない。

製品の調子が悪かったり異常を感じたら、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、製品の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー（株）へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。

作業後

1 作業終了時には必ず電源スイッチを切って（OFFにして）、電源プラグをコンセントから抜く。

2 電源プラグをコンセントから抜いた状態で電源スイッチを入れない。

3 作業終了時には、ドレンコックをゆるめ、エアタンク内のドレンと圧縮空気を排出する。

4 エアコンプレッサを大切に手入れする。

5 エアコンプレッサを分解しない。

6 エアコンプレッサに改造や衝撃を加えることは、絶対に行わない。

エアホース

1 専用エアホースの切断・加工は絶対にしない。

2 専用エアホース金具は絶対に分解しない。

3 ひび割れ・変色・穴あき発生時は絶対に使用しない。

4 専用エアホースに該当するエア工具以外の用途には絶対に使用しない。

5 専用エアコンプレッサに接続する前に必ず専用エアホースと専用ホース金具（専用エアチャック）が完全に固定されていることを確認する。

⚠ 警　告
電動工具の安全作業のために

1 作業場は、いつもきれいに保つ。
・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2 作業場の周囲状況も考慮する。
・電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
・作業場は十分に明るくしてください。
・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3 感電に注意する。
・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

4 子供を近づけない。
・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
・作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5 使用しない場合は、きちんと保管する。
・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。

6 無理して使用しない。
・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7 作業に合った電動工具を使用する。
・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
・指定された用途以外に使用しないでください。

8 きちんとした服装で作業する。
・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9 保護メガネを使用する。
・作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10 防音保護具を着用する。
・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11 集塵装置が接続できるものは接続して使用する。
・電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12 コードを乱暴に扱わない。
・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13 加工するものをしっかりと固定する。
・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14 無理な姿勢で作業をしない。
・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15 電動工具は、注意深く手入れをする。
・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、決してご自分で修理をなさらないで、製品の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー（株）へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く。
・使用しない、又は修理する場合。・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
・その他危険が予想される場合。

17 調節キーやレンチなどは、必ず取り外す。
・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

18 不意な始動は避ける。
・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

19 屋外使用に合った延長コードを使用する。
・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20 油断しないで十分注意して作業を行う。
・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・常識を働かせてください。・疲れている場合は、使用しないでください。

21 損傷した部品がないか点検する。
・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・可動部分の位置調整、及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、決してご自分で修理をなさらないで、製品の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー（株）へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。
・スイッチで始動、及び停止操作が出来ない電動工具は、使用しないでください。

22 指定の付属品やアタッチメントを使用する。

23 絶対に改造しない。
・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

充電工具の安全作業のために

1 専用の充電器や電池パックを使用する。
・指定以外の充電器で電池パックを充電しないでください。
・指定した電池パック以外は充電しないでください。

2 正しく充電する。
・充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
・温度が5℃未満、又は温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
・電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
・使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・充電器の通風孔や電池パック装着口に異物を入れないでください。

3 電池パックの端子間を短絡させない。
・電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。

4 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜く。
・使用しない、又は修理する場合。
・刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。・その他危険が予想される場合。

5 不意な始動は避ける。
・スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

6 電池パックを火中に投入しない。

7 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で充分洗い、医師の治療を受ける。

8 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。